

【胃がん】

レジメンCD	電子カルテ登録名	レジメン名	1クール	催吐リスク分類	備考
GI105a	《CV用》CapeOX	CapeOX	3週間	中等度	d1夕～d15朝 カペシタビン内服
GI101a	《CV用》SOX	SOX	3週間	中等度	d1夕～d15朝 エスワン内服
GI108	[SH]CDDP(d8)(TS-1併用)	[SH]CDDP[+S-1併用]	5週間	高度	d1夕～d15朝 エスワン内服
GI123	[SH]カペシタビン+CDDP(d1)	[SH]CDDP[+Cape併用]	3週間	高度	d1夕～d15朝 カペシタビン内服
GI124	[SH]カペシタビン+Tmab+CDDP(d1)	[SH]Tmab+CDDP[+Cape併用]	3週間	高度	d1夕～d15朝 カペシタビン内服 (HER2陽性限定)
GI126	Tmab+SOX	Tmab+SOX	3週間	中等度	d1夕～d15朝 エスワン内服
GI127	GI127 Tmab+CapeOX	Tmab+CapeOX	3週間	中等度	d1夕～d15朝 カペシタビン内服
GI102	RAM(d1/15)+PTX(d1/8/15)	RAM+PTX	4週間	軽度	
GI104	RAM(d1/15)	RAM単剤療法	4週間	軽度	
GI111	Nivolumab胃]	Nivolumab単剤療法	2週間	最小	3rdine以降
GI028	CPT-11(d1/15)+CDDP(d1)	CPT-11+CDDP	4週間	高度	アプレタントd1～d3内服
GI058	CPT-11+CDDP(d1/15)	CPT-11+CDDP(CDDP分割)	4週間	高度	アプレタントd1～d3内服
GI065	DTX(d1) [胃]	DTX単剤療法	3週間	軽度	
GI032	LowdoseFP	LowdoseFP I	4週間	高度	
GI033	Lowdose5-FU(d1-5/8-12/15-19)	LowdoseFP II	4週間	軽度	
GI112	《CV用》(UseInfuser)mFOLFOX6(胃)	mFOLFOX6	2週間	中等度	
GI007	PTX(d1/8)[+S-1併用]	PTX[+S-1併用]	3週間	軽度	d1夕～d15朝 エスワン内服
NI045	PTX(d1/15)	biweeklyPTX単剤療法	4週間	軽度	
GI005	PTX(d1/8/15) [胃]	weeklyPTX単剤療法	4週間	軽度	
NI088	CPT-11(d1/15)	biweeklyCPT-11単剤療法	2週間	中等度	
NI044	CPT-11(1/8/15)	weeklyCPT-11単剤療法	4週間	中等度	
GI128	アジュバント DTX[+S-1併用]	アジュバント DTX[+S-1併用]	3週間	軽度	d1夕～d15朝 エスワン内服
GI130	RAM(d1/15)+nabPTX(d1/8/15)	RAM+nabPTX	4週間	軽度	
GI143	Nivolumab+SOX(胃)	Nivolumab+SOX	3週間	中等度	d1夕～d15朝 エスワン内服
GI144	Nivolumab+CapeOX(胃)	Nivolumab+CapeOX	3週間	中等度	d1夕～d15朝 カペシタビン内服
GI145	《CV用》(UseInfuser)Nivolumab+mFO	Nivolumab+mFOLFOX6	2週間	中等度	
GI146	T-DXd(d1)(胃)	T-DXd(d1)	3週間	中等度	(HER2陽性限定)

患者ID _____

適応疾患名: **胃がん**

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

注射処方

Rp **d-1**

① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set } 125mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL }

② 5%ブドウ糖 250 mL } 125mL/hr
オキサリプラチン mg }

→ / ~
 → / ~

③ 生食 50 mL } 125mL/hr

内服

カペシタビン mg 分2 (朝・夕)
 → / ~
 → / ~

カペシタビンC法

対表面積	1回用量(×2=1日用量)
1.36m ² 未満	1200mg/回(2400mg/日)
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg/回(3000mg/日)
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg/回(3600mg/日)
1.96m ² 以上	2100mg/回(4200mg/日)

点滴終了後、夕食後より d1夕～d15朝 2週間内服
 d15夕～d22朝 休薬

	d1	d15	～ d21
オキサリプラチン (L-OHP) 130mg/m ²	↓	休薬	
カペシタビン 2400～4200mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで	d15夕から休薬
中等度催吐性リスク d2-3デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分			

患者ID

適応疾患名： 胃がん

医師

氏名

身長 _____ cm
体重 _____ kg

体表面積 _____ m²

注射処方

- Rp **d-1**
- ① グラニセロン1mg+生食100mL 1 Set } 125mL/hr
デキサート(6.6mg) 2 mL }
 - ② 5%ブドウ糖 250 mL } 125mL/hr
オキサリプラチン mg }
→
→
 - ③ 生食 50 mL } 125mL/hr

	d1	d15 ~ d21
オキサリプラチン (L-OHP) 100mg/m ² *注	↓	休薬
S-1 80~120mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで d15夕から休薬
中等度催吐性リスク d2-3デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分		

内服

S-1 mg 分2 (朝・夕)
→
→

S-1

BSA	1日用量
~1.25m ²	80mg
1.25~1.5m ² 未満	100mg
1.5m ² 以上	120mg

※状況に応じ減量

注意

点滴終了後、夕食後より d1夕~d15朝 2週間内服
d15夕~d22朝 休薬

***注** 胃がんSOXだけL-OHP 100mg/m²
(Tmab+SOX、大腸がんは130mg/m²)

外科

GI108 [SH]CDDP[+S-1併用]【5W】6h※高

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 cm

体表面積 m²

体重 kg

Ccr mL/min

Day8③～⑥の間に経口補水液を1000mL摂取推奨

注射処方

- Rp **d-8**
- ① 生食 100 mL }
アロキシ 1 瓶 } 200mL/hr
プロイメンド 1 瓶 }
デキサート(6.6mg) 3 mL }
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ ソルデム3A 500 mL }
塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr
硫酸Mg補正液(20mL) 1 A }
 - ④ 15%マンニトール 500 mL } 500mL/hr
 - ⑤ 生食 250 mL }
シスプラチン mg } 360mL/hr
- CDDP120mgを超える場合は
生食500mLから250mL抜く →
→
- ⑥ ソルデム3A 500 mL }
塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr

	d1-7	d8	d9-35
シスプラチン (CDDP) 60mg/m ²	休薬	↓	休薬
S-1 80~120mg/Day (左下表参照)	→→→		d22 夕 休薬
d1夕~d22朝			
高度催吐性リスク d9-11デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分			

内服

S-1 mg 分2 (朝・夕)
→
→

S-1

体表面積	1日用量
~1.25m ²	80mg
1.25~1.5m ² 未満	100mg
1.5m ² 以上	120mg

※状況に応じ減量

d1夕~d21朝 内服
d22~d35朝 休薬

外科

GI123 (SH)CDDP(d1)(+Cape併用)【3W】 6h ※高

患者ID _____ 適応疾患名: 胃がん 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²

_____ 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

③～⑥の間に経口補水液を1000mL摂取推奨

注射処方

- Rp **d-1**
- ① 生食 100 mL }
アロキシ 1 瓶 } 200mL/hr
プロイメンド 1 瓶 }
デキサート(6.6mg) 3 mL }
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ ソルデム3A 500 mL }
塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr
硫酸Mg補正液(20mL) 1 A }
 - ④ 15%マンニトール 500 mL } 500mL/hr
 - ⑤ 生食 250 mL }
シスプラチン mg } 360mL/hr
- CDDP120mgを超える場合は
生食500mLから250mL抜く → / ~
→ / ~
- ⑥ ソルデム3A 500 mL }
塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr

	d1	d15 ~ d21
シスプラチン (CDDP) 80mg/m ²	↓	休薬
カペシタビン 2400~4200mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで d15夕から休薬
高度催吐性リスク d2-4 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分		

内服処方

カペシタビン mg 分2 朝・夕

カペシタビンC法

対表面積	1回用量(×2=1日用量)
1.36m ² 未満	1200mg/回(2400mg/日)
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg/回(3000mg/日)
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg/回(3600mg/日)
1.96m ² 以上	2100mg/回(4200mg/日)

点滴終了後、夕食後より d1夕～d15朝 2週間内服
d15夕～d22朝 休薬

外科 GI124 [SH]Tmab + CDDP(d1)[+Cape併用]【3W】7h※高

患者ID _____

適応疾患名: HER2陽性胃がん 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 _____ 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

⑤～⑧の間に経口補水液を1000mL摂取推奨

注射処方

Rp

d-1	
① 生食	100 mL
アロキシ	1 瓶
プロイメンド	1 瓶
デキサート(6.6mg)	3 mL
② 生食	50 mL
③ 生食	250 mL
注射用水(溶解用)	★ mL
トラスツズマブ	_____ mg
※初回(1-1)のみ	
_____	1-2以降 → / ~
	→ / ~

	d1	d15 ~ d21
トラスツズマブ (Tmab) 初回d1のみ8mg/kg 以降6mg/kg	↓	休薬
シスプラチン (CDDP) 80mg/m ²	↓	休薬
カペシタビン 2400~4200mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで d15夕から休薬
高度催吐性リスク		
d2-4 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分		

★トラスツズマブ溶解法★150 mgは7.2mL、60mgは3mLの注射用水

④ 生食	50 mL	全開
⑤ ソルデム3A	500 mL	500mL/hr
塩化ナトリウム10%(20mL)	1 A	
硫酸Mg補正液(20mL)	1 A	
⑥ 15%マンニトール	500 mL	500mL/hr
⑦ 生食	250 mL	360mL/hr
シスプラチン	_____ mg	
CDDP120mgを超える場合は		
生食500mLから250mL抜く		→ / ~
		→ / ~
⑧ ソルデム3A	500 mL	500mL/hr
塩化ナトリウム10%(20mL)	1 A	

内服処方

カペシタビン _____ mg 分2 朝・夕

カペシタビンC法

対表面積	1回用量(×2=1日用量)
1.36m ² 未満	1200mg/回(2400mg/日)
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg/回(3000mg/日)
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg/回(3600mg/日)
1.96m ² 以上	2100mg/回(4200mg/日)

点滴終了後、夕食後より d1夕～d15朝 2週間内服
 d15夕～d22朝 休薬

患者ID _____

適応疾患名： HER2陽性胃がん

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm
体重 _____ kg

体表面積 _____ m²

注射処方

Rp **d-1**

① グラニセロン1mg+生食100mL 1 Set }
デキサート(6.6mg) 2 mL } 170mL/hr

② 生食 250 mL }
注射用水(溶解用) ★ mL } ※170ml/hr
トラスツズマブ mg }
※初回(1-1)のみ
 → / ~
2-1以降 → / ~

★トラスツズマブ溶解法★
150 mgは7.2mL、60mgは3mLの注射用水

③ 5%ブドウ糖 250 mL }
オキサリプラチン mg } 125mL/hr
→ / ~
→ / ~

④ 生食 50 mL } 125mL/hr

内服
S-1 mg 分2 (朝・夕)
→ / ~
→ / ~

S-1

体表面積	1日用量
~1.25m ²	80mg
1.25~1.5m ² 未満	100mg
1.5m ² 以上	120mg

※状況に応じ減量

	d1	d15 ~ d21
トラスツズマブ (Tmab) 初回d1のみ8mg/kg 以降6mg/kg	↓	休薬
オキサリプラチン (L-OHP) 130mg/m ²	↓	
S-1 80~120mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで d15夕から休薬
中等度催吐性リスク d2-3デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分		

※トラスツズマブは1回目で十分な耐受性が確認できれば2回目以降30分に短縮可

点滴終了後、夕食後より d1夕~d15朝 2週間内服
d15夕~d22朝 休薬

患者ID

適応疾患名： HER2陽性胃がん

医師名

氏名

身長 _____ cm
体重 _____ kg

体表面積 _____ m²

注射処方

Rp d-1

① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set }
デキサート(6.6mg) 2 mL } 170mL/hr

② 生食 250 mL }
注射用水(溶解用) ★ mL } ※170ml/hr
トラスツズマブ [] mg }
※初回(1-1)のみ
[] → / ~
1-2以降 → / ~

★トラスツズマブ溶解法★

150 mgは7.2mL、60mgは3mLの注射用水

③ 5%ブドウ糖 250 mL }
オキサリプラチン [] mg } 125mL/hr
→ / ~
→ / ~

④ 生食 50 mL } 125mL/hr

内服

カペシタビン [] mg 分2 (朝・夕)
→ / ~
→ / ~

カペシタビンC法

対表面積	1回用量(×2=1日用量)
1.36m ² 未満	1200mg/回(2400mg/日)
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg/回(3000mg/日)
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg/回(3600mg/日)
1.96m ² 未満	2100mg/回(4200mg/日)

点滴終了後、夕食後より d1夕～d15朝 2週間内服
d15夕～d22朝 休薬

	d1	d15	～ d21
トラスツズマブ (Tmab) 初回d1のみ8mg/kg 以降6mg/kg	↓	休薬	
オキサリプラチン (L-OHP) 130mg/m ²	↓		
カペシタビン 2400～4200mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで	d15夕から休薬
中等度催吐性リスク			
d2-3デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分			

※トラスツズマブは1回目で十分な耐受性が確認できれば2回目以降30分に短縮可

外科 GI102 RAM(d1,15)+PTX(d1,8,15)【4W】4.5h※軽

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方

PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

	d1	d8	d15	d16-28
サイラムザ [®] (RAM) 8mg/Kg	↓		↓	休薬
パクリタキセル(PTX) 80mg/m ²	↓	↓	↓	
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

Rp d-1,15

- ① 生食 100 mL }
 デキサート(6.6mg) 2 mL } 250mL/hr
 ファモチジン(20mg) 1 A }
 ポララミン(5mg) 1 A }
- ② 生食 100 mL } 250mL/hr
- ③ 生食 250 mL } 250mL/hr
サイラムザ mg }
-
-

サイラムザ使用分だけ生食を抜き取り全量250mLとせよ!

- ④ 生食 100 mL } 100mL/hr
 ※3回目以降;2回目までに問題なければ
 流速全開でOK
- ⑤ 5%ブドウ糖 250 mL } 250mL/hr
パクリタキセル mg }
-
-
- ⑥ 生食 50 mL } 250mL/hr

Rp d-8

- ① 生食 100 mL }
 デキサート(6.6mg) 2 mL } 250mL/hr
 ファモチジン(20mg) 1 A }
 ポララミン(5mg) 1 A }
- ② 生食 100 mL } 250mL/hr
- ③ 5%ブドウ糖 250 mL } 250mL/hr
パクリタキセル mg }
-
-
- ④ 生食 50 mL } 250mL/hr

外科

GI104 RAM(d1,15)【4W】1.5h※最小

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方

PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

Rp **d-1,15**

①	生食	50	mL	} 250mL/hr
	ポララミン(5mg)	1	A	
②	生食	100	mL	} 250mL/hr
③	生食	250	mL	
	サイラムザ	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	mg	} 250mL/hr

	d1	d8	d15	d16-28
サイラムザ®(RAM) 8mg/Kg	↓		↓	休薬
最小度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

サイラムザ使用分だけ生食を抜き取り全量250mLとせよ！

④ 生食 50 mL } 250mL/hr

2回目までに問題なければ3回目以降は流速全開でOK

外科

GI111 Nivolumab(d1)【2W】2h※最小

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μm以下のフィルター使用

- | | | |
|-------|---------------|------------|
| ① 生食 | 50 mL | } 100mL/hr |
| ② 生食 | 100 mL | |
| オプジーボ | 240 mg | } 100mL/hr |
| ③ 生食 | 50 mL | |

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I : インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II : ①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

適応上の注意 2017/12/20時点

がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行再発の胃癌 3rdine以降

外科 GI028 ◆アプレピタント◆CPT-11(d1,15)+CDDP(d1)【4W】※高中

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方 ◆アプレピタント併用◆

Rp **d-1(イリノテカン、シスプラチン)**

<メインルート>

① 生食 1000 mL } 24時間
 外クオプラミド注 2 A

<以下側管ルート(①と同時に開始)>

② アロキシ1瓶+生食100mL 1 Set } 170mL/hr
 デキサート(6.6mg) 3 mL

③ 5%ブドウ糖 250 mL } 170mL/hr
イリノテカン mg

④ 生食 250 mL } 170mL/hr
シスプラチン mg

CDDP120mgを超える場合は
 生食500mLへ変更し250mL抜く

⑤ ソルデム1 500 mL } 170mL/hr
 外クオプラミド注 1 A

⑥ ソルデム3A 500 mL }

d-2、3

<メインルート>

① 生食 1000 mL } 24時間
 外クオプラミド注 2 A

<以下側管ルート(①と同時に開始)>

② ソルデム1 500 mL } 250mL/hr
 外クオプラミド注 1 A

③ ソルデム3A 500 mL }

d-15(イリノテカン単剤)

① グラセトロン1mg+生食100mL 1 Set } 170mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL

② 5%ブドウ糖 250 mL } 170mL/hr
イリノテカン mg

③ 生食 50 mL } 170mL/hr

	d1	d2,3	d4-14	d15	d16-28
イリノテカン (CPT-11) 70mg/m ²	↓	(点滴あり)		↓	
シスプラチン (CDDP) 80mg/m ²	↓				
高度催吐性リスク(d1) d1-3 アプレピタント3日分					
d2-4 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分					
中等度催吐性リスク(d15) d16-17 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分					

→

→

→

→

外科058 ◆アプレピタント◆CPT-11+CDDP(d1,15)【4W】※高

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方 ◆アプレピタント併用◆

Rp **d-1,15**

<メインルート>

① 生食 1000 mL } 24時間
 外科プロラミド注 2 A

<以下側管ルート(①と同時に開始)>

② アロキシ1瓶+生食100mL 1 Set } 175mL/hr
 デキサート(6.6mg) 3 mL

③ 5%ブドウ糖 250 mL } 175mL/hr
イリノテカン mg

→
 →

④ 生食 250 mL } 175mL/hr
シスプラチン mg

→
 →

⑤ ソルデム1 500 mL }
 外科プロラミド注 1 A } 250mL/hr

⑥ ソルデム3A 500 mL }

d-2,3,16,17

<メインルート>

① 生食 1000 mL } 24時間
 外科プロラミド注 2 A

<以下側管ルート(①と同時に開始)>

② ソルデム1 500 mL }
 外科プロラミド注 1 A } 250mL/hr

③ ソルデム3A 500 mL }

	d1	d2,3	d8	d15	d16,17	d21
イリノテカン (CPT-11) 60mg/m ²	↓	(点滴あり)	休薬	↓	(点滴あり)	休薬
シスプラチン (CDDP) 30mg/m ²	↓	(点滴あり)	休薬	↓	(点滴あり)	休薬
高度催吐性リスク(d1,15) d1-3,d15-17 アプレピタント3日分 d2-4,d16-18デカドロン錠8mg 分1朝食後 3日分						

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方

Rp **d-1**

① 生食 100 mL } 250mL/hr
 デキサート(6.6mg) 1 mL }

② 5%ブドウ糖 250 mL } 250mL/hr
ドセタキセル mg }

→
 →

③ 生食 50 mL } 250mL/hr

所要時間:約2時間

	d1	d2-21
ドセタキセル (DTX) 60mg/m ²	↓	休薬
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし※		

※浮腫予防のため
 d2-3デカドロン8mg分1朝食後服用

外科 GI032 Low Dose FP(5-FU+CDDP)(d1-5,8-12,15-19)【4W】25h※中

患者ID _____ 適応疾患名: _____ 医師名 _____
 氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 _____ 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

5日間連続投与2日休みを3週間 1週間休み						
	d1-5	d6,7	d8-d12	d13,14	d15-d19	d20-d28
5-FU 500mg/boby/day	→ →	休薬	→ →	休薬	→ →	休薬
シスプラチン (CDDP) 10mg/boby/day	→ →		→ →		→ →	
中等度催吐性リスク d6-7,d13-14,d15-19 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分						

注射処方

Rp **d1-5,d8-12,d15-19**
 <①・③メイン> <②・④側管>
 ① 生食 100 mL } 200mL/hr

★★★★★①開始と同時に②開始★★★★★

② グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set } ①の側管
 デキサート(6.6mg) 2 mL } 200mL/hr

③ 生食 1000 mL } 24時間
フルオロウラシル mg }
 → / ~
 → / ~

④ 生食 100 mL } ③の側管
シスプラチン mg } 200mL/hr
 → / ~
 → / ~

* d=5,12,19のみメイン終了後に生食50mL追加

外科

GI033 5-FU持続(d1-5,8-12,15-19)【4W】※軽

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

注射処方

Rp d1-5,d8-12,d15-19

	d1-5	d8-12	d15-19	d20-28
5-FU	→ →	→ →	→ →	休薬
500mg/boby/day				
軽度催吐性リスク				
内服デカドロンなし				

① 生食 100 mL } 200mL/hr
 デキサート(6.6mg) 1 mL

② 生食 1000 mL } 24時間
フルオウラシル mg

→ / ~
 → / ~

* d-5,12,19のみメイン終了後に生食50mL追加

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長

cm

体表面積

m²

体重

kg

注射処方

Rp d-1~2

① グラニセロン1mg+生食100mL 1 Set } 125mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL

② 5%ブドウ糖 250 mL } 125mL/hr
オキサリプラチン mg

→
 →

③ 5%ブドウ糖 250 mL } 側管ルート
レボホリナート mg } 125mL/hr

→
 →

④ 生食 50 mL } 全開
フルオロウラシル mg

→
 →

⑤ 生食 50 mL } 全開
ルートをインフューザーに付け替える

⑥ 生食 全量 115 mL } 2.5mL/hr
フルオロウラシル mg

→
 →
全量115mLで！！

⑦ ヘパリンロック(在宅では自己)

	d1	d3~14
オキサリプラチン(L-OHP) 85mg/m ²	↓	休 薬
レボホリナート(I-LV) 200mg/m ²	↓	
フルオロウラシル 400mg/m ² ・2400mg/m ²	↓	
中等度催吐性リスク d2-3 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分		

外科

GI007 PTX (d1,8) [+S-1併用] 【3W】2.5h※軽

患者ID _____ 適応疾患名: 胃がん 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方

Rp **d-1,8**

PVCフリーチューブ・0.22 μm以下のフィルター使用

- ① 生食 100 mL } 250mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL }
 ファモチジン(20mg) 1 A }
 ポララミン(5mg) 1 A }
- ② 生食 100 mL } 250mL/hr
- ③ 5%ブドウ糖 250 mL } 250mL/hr
パクリタキセル mg }
 → / ~
 → / ~
- ④ 生食 50 mL } 250mL/hr

	d1	d8	d15	~ d21
パクリタキセル (PTX) 50mg/m ²	↓	↓		休薬
S-1 80~120mg/Day (左下表参照)			朝まで	d15夕から休薬
	夕より	↑		
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

内服処方

S-1 mg 分2 (朝・夕)
 d1夕~d15朝 内服
 d15夕~d22朝 休薬
 → / ~
 → / ~

S-1

BSA	1日用量
~1.25m ²	80mg
1.25~1.5m ² 未満	100mg
1.5m ² 以上	120mg

※状況に応じ減量

注意

点滴終了後、夕食後より d1夕~d15朝 2週間内服
 d15夕~d22朝 休薬

内科

NI045 NI045 PTX(d1,15)【4W】※軽

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1, 15**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

	d1	d8	d15	d16-28
パクリタキセル(PTX) 60~80mg/m ²	↓	休薬	↓	休薬
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

① 生食 100 mL }
 デキサート(6.6mg) 2 mL } 250mL/hr
 ファモチジン(20mg) 1 A }
 ポララミン(5mg) 1 A }

② 生食 100 mL } 250mL/hr

③ 5%ブドウ糖 250 mL }
パクリタキセル mg } 250mL/hr
 →

/ ~
/ ~

④ 生食 50 mL } 250mL/hr

外科

GI005 PTX(d1,8,15)【4W】2.5h※軽

患者ID _____

適応疾患名: 胃がん

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方

Rp **d-1,8,15**

	d1	d8	d15	d16-28
パクリタキセル(PTX) 80mg/m ²	↓	↓	↓	休薬
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

① 生食 100 mL }
 デキサート(6.6mg) 2 mL } 250mL/hr
 ファモチジン(20mg) 1 A }
 ポララミン(5mg) 1 A }

② 生食 100 mL } 250mL/hr

③ 5%ブドウ糖 250 mL }
パクリタキセル mg } 250mL/hr

→
 →

④ 生食 50 mL } 250mL/hr

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

注射処方

Rp **d-1**

① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set } 250mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL }

② 生食 500 mL } 250mL/hr
イリノテカン mg }

→ / ~
 → / ~

③ 生食 50 mL } 250mL/hr

	d1	d2-14
イリノテカン (CPT-11) 150mg/m ²	↓	休薬
中等度催吐性リスク(d1)		
d2-3 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分		

内科

NI044 CPT-11(d1,8,15)【4W】※中

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1、8、15**

	d1	d8	d15	d22
イリノテカン(CPT-11) 100mg/m ²	↓	↓	↓	休薬
中等度催吐性リスク d2-3 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分				

① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set } 300mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL }

② 生食 500 mL } 300mL/hr
イリノテカン mg }

→

→

③ 生食 50 mL } 300mL/hr

A法基準

外科

GI128 アジュバントDTX(d1)+S1(胃)【3W】

患者ID _____ 適応疾患名: 胃がん(アジュバント) 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 _____ 体重 _____ kg

※胃がんStageⅢ アジュバント

②～⑦コース目	d1	d15	～ d21
トセタキセル (DTX) 40mg/m ²	↓	休薬	
S-1 80～120mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで	d15夕から休薬
軽度催吐性リスク			
浮腫予防のため d2-3デカドロン8mg分1朝食後服用推奨			

注射処方
Rp **d-1**

① 生食 100 mL } 250mL/hr
 デキサート(6.6mg) 1 mL }

② 5%ブドウ糖 250 mL } 250mL/hr
トセタキセル mg }

→ / ~
 → / ~

③ 生食 50 mL } 250mL/hr

【注意】
 ①コース目 エスワン単剤
 エスワン:夕食後より
 d1夕～d15朝 2週間内服
 d15夕～d22朝 休薬

内服
エスワン mg 分2 (朝・夕)
 → / ~
 → / ~

②～⑦コース目 DTX+エスワン
 エスワン:点滴終了後、夕食後より
 d1夕～d15朝 2週間内服
 d15夕～d22朝 休薬

エスワン

体表面積	1日用量
～1.25m ²	80mg
1.25～1.5m ² 未満	100mg
1.5m ² 以上	120mg

※状況に応じ減量

※⑧コース目以降 エスワン単剤
 (1コース目開始から1年間まで)
 エスワン:夕食後より
 d1夕～d29朝 4週間内服
 d29夕～d43朝 2週間休薬

外科

GI130 RAM(d1,15)+nab-PTX(d1,8,15)【4W】3h,1h,3h※軽

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方

★薬剤師へ★

※アブラキサンはおおよそ30分で落ちる
 ようにオーダの生食量・流速を調整すること

	d1	d8	d15	d16-28
サイラムザ*(RAM) 8mg/Kg	↓		↓	休薬
アブラキサン(nabPTX) 100mg/m ²	↓	↓	↓	
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

Rp d-1,15

<①~④メインルート/フィルタ-通す>

- | | | | |
|--------------|----------------------|----|------------|
| ① 生食 | 100 | mL | } 250mL/hr |
| デキサート(6.6mg) | 2 | mL | |
| ファモチジン(20mg) | 1 | A | |
| ポララミン(5mg) | 1 | A | |
| ② 生食 | 100 | mL | } 250mL/hr |
| ③ 生食 | 250 | mL | |
| サイラムザ | <input type="text"/> | mg | } 250mL/hr |
| | | | |

アブラキサンに関して
 特定生物由来製品<オレンジ伝票あり>
 ※特定生物由来製品 使用同意書必要あり
 使用記録を残す必要あり
 ※シールは調製時にオレンジ伝票に貼付
 オレンジ伝票はタッパーに貼り、病棟で実施サイン

減量方法

RAM

8mg/kg ⇒ 6mg/kg ⇒ 5mg/kg

nabPTX

100mg/m² ⇒ 80mg/m² ⇒ 60mg/m²

忍容性得られれば2回目以降500ml/hrでも可

サイラムザ使用分だけ生食を抜き取り全量250mLとせよ!

- | | | | |
|------|----|----|------------|
| ④ 生食 | 50 | mL | } 250mL/hr |
| | | | |

<⑤~⑦側管ルート/フィルタ-禁止>

- | | | | |
|---------------|----------------------|----|------------|
| ⑤ 生食 | 50 | mL | } 250mL/hr |
| ⑥ 生食 | ★ | mL | |
| アブラキサン | <input type="text"/> | mg | } ※50mL/hr |
| | | | |

(生食50mL容器)

20mL/Vで溶解。残りの生食破棄

※調製法別紙参照

溶解で使用した生食の残りは破棄し、空の容器に入れること

- | | | | |
|------|----|----|------------|
| ⑦ 生食 | 50 | mL | } 250mL/hr |
| | | | |

Rp d-8

①~③メインルート/フィルタ-禁止

- | | | | |
|--------------|-----|----|------------|
| ① 生食 | 100 | mL | } 250mL/hr |
| デキサート(6.6mg) | 1 | mL | |

- | | | | |
|---------------|----------------------|----|------------|
| ② 生食 | ★ | mL | } ※50mL/hr |
| アブラキサン | <input type="text"/> | mg | |

(生食50mL容器)

20mL/Vで溶解。残りの生食破棄

※調製法別紙参照

溶解で使用した生食の残りは破棄し、空の容器に入れること

- | | | | |
|------|----|----|------------|
| ③ 生食 | 50 | mL | } 250mL/hr |
| | | | |

外科

GI143 Nivolumab+SOX【3W】4h※中

患者ID _____ 適応疾患名: 進行胃がん 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg **HER2陰性**

注射処方

- Rp **d-1**
- ① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set } 200mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL }
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ 生食 100 mL } 100mL/hr
 オプジーボ **360 mg** }
 - ④ 生食 50 mL } 全開
 - ⑤ 5%ブドウ糖 250 mL } 125mL/hr
 オキサリプラチン **mg** }
- / ~
 → / ~
- ⑥ 生食 50 mL } 125mL/hr

	d1	d15	~ d21
オプジーボ (Nivolumab) 360mg/回/body	↓	休薬	
オキサリプラチン (L-OHP) 100mg/m ² *注	↓		
S-1 80~120mg/Day (左下表参照)	夕より	朝まで	d15夕から休薬
中等度催吐性リスク d2-3デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分			

***注** 胃がんSOXだけL-OHP 100mg/m²

内服
S-1 **mg** 分2 (朝・夕)
 → / ~
 → / ~

S-1

BSA	1日用量
~1.25m ²	80mg
1.25~1.5m ² 未満	100mg
1.5m ² 以上	120mg

※状況に応じ減量

注意
 点滴終了後、夕食後より d1夕~d15朝 2週間内服
 d15夕~d22朝 休薬

外科

GI144 Nivolumab+CapeOX【3W】4h※中

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm
 体重 _____ kg

体表面積 _____ m²
HER2陰性限定

注射処方

- Rp **d-1**
- ① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set } 200mL/hr
 デキサート(6.6mg) 2 mL }
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ 生食 100 mL } 100mL/hr
 オプジーボ **360 mg** }
 - ④ 生食 50 mL } 全開
 - ⑤ 5%ブドウ糖 250 mL } 125mL/hr
 オキサリプラチン **mg** }
 - ⑥ 生食 50 mL } 125mL/hr

	d1	d15	~ d21
オプジーボ (Nivolumab) 360mg/回/body	↓	休薬	
オキサリプラチン (L-OHP) 130mg/m ²	↓		
カペシタビン ≒2000mg/m ²	夕より	朝まで	d15夕から休薬
中等度催吐性リスク d2-3デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分			

内服

カペシタビン **mg** 分2 (朝・夕)

→ / ~

→ / ~

カペシタビンC法

対表面積	1回用量(×2=1日用量)
1.36m ² 未満	1200mg/回(2400mg/日)
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg/回(3000mg/日)
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg/回(3600mg/日)
1.96m ² 以上	2100mg/回(4200mg/日)

点滴終了後、夕食後より d1夕~d15朝 2週間内服
 d15夕~d22朝 休薬

患者ID

適応疾患名: 胃がん

医師名

氏名

身長 _____ cm
体重 _____ kg

体表面積 _____ m²

注射処方

- Rp **d-1~2**
- ① グラニセロン1mg+生食100mL 1 Set } 200mL/hr
デキサート(6.6mg) 2 mL
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ 生食 100 mL }
オプジーボ mg } 100mL/hr
 - ④ 生食 50 mL } 全開
 - ⑤ 5%ブドウ糖 250 mL } 125mL/hr
オキサリプラチン mg
- オキサリプラチン調製時は必ず5%ブドウ糖を用いる →
- ⑥ 5%ブドウ糖 250 mL } 側管ルート
レボホリナート mg } 125mL/hr
-
- ⑦ 生食 50 mL } 全開
フルオロウラシル mg
-
- ⑧ 生食 50 mL } 全開
- ルートをインフューザーに付け替える
- ⑨ 生食 mL }
フルオロウラシル mg } mL/hr
-
-

	d1	d3~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休 薬
オキサリプラチン(L-OHP) 85mg/m ²	↓	
レボホリナート(I-LV) 200mg/m ²	↓	
フルオロウラシル 400mg/m ² ・2400mg/m ²	↓	
中等度催吐性リスク d2-3 デカドロン錠8mg 分1 朝食後 2日分		

⑩ 薬剤部は生食を規定量で調製せよ
へパリンフラッシュ(在宅では自己)

患者ID _____ 適応疾患名: がん化学療法後に増悪したH
ER2陽性の治癒切除不能な
進行・再発の胃癌 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg

注射処方 ネオシールドフィルターあり使用

Rp **d-1**

- ① 5%ブドウ糖 100 mL }
 パロノセトロン注 1 瓶 } 200mL/hr
 デキサート注 2 mL }

- ② 5%ブドウ糖 100 mL }
 注射用水(溶解用) ★ mL } ※70ml/hr
エンハーツ mg }

	d1	d2-21
エンハーツ (T-DXd) 6.4mg/m ²	↓	休薬
中等度催吐性リスク 内服デカドロンなし パロノセトロン使用		

↑ 要遮光！！

→

→

- ①エンハーツ専用遮光袋に入れる
- ②遮光タッパーで払い出し

★エンハーツ溶解法★

5mL/瓶の注射用水で溶解(→溶解液は20mg/mL)
 注射用水注入後2分間放置

- ③ 5%ブドウ糖 50 mL } 200mL/hr

※エンハーツは1回目で十分な耐容性が
 確認できれば2回目以降30分まで短縮可
 70ml/hr→200ml/hr